

◎申請法人・団体名： 一般社団法人群馬県手をつなぐ育成会

◎企画名： 知的障害への理解促進セミナー

◎配分額

3年間合計 1,825,000円（1年目200,000円、2年目800,000円、3年目825,000円）

◎課題認識・解決の目標

・知的障害者への福祉制度は国や県で整備されてきたが、未だに一般県民の知的障害者への理解度は低く、差別を原因とした虐待事件も起きている。このような状況の中、知的障害者の地域移行や健常者との交流が進んでおらず、知的障害者の保護者の親亡き後の不安も解消されていない。

・知的障害者の人権が尊重され、差別や虐待がなく、地域の皆にやさしく見守られながら共に生活できる社会、親亡き後も子ども達が支援者に支えられ、安心して暮らしていける社会の構築が早急に望まれる。

・そこで知的障害者と健常者の交流機会を増やし一般県民の関心を高め知的障害への理解促進を図るため、普及啓発3カ年計画を策定し、地域共生のキーパーソンの団体（民生委員児童委員協議会・区長会等）を対象に知的障害者への理解度、関心度の調査や知的障害への理解促進セミナーを開催する。（県育成会が作成した「あんしんノート」を活用）

・また、専門家を交え効果的な構成を検討したうえで、育成会のホームページを作成し、随時情報を発信し普及啓発に役立てる。（知的障害者との交流の場やボランティア募集内容などの情報を発信）

◎3年間の取組

<1年目>

・普及啓発セミナーについて委員会で内容や講師等を検討し開催

（参加者：民生・児童委員や自治会関係者等約100名）

・民生・児童委員・区長会の後援を得てセミナーを開催

<2年目>

・一年目の取組を継続し理解促進セミナーと名称変更して開催

（オンラインで民生・児童委員や自治会関係者等に配信：約100名）

・アンケート調査を民生委員児童委員協議会に対し実施

・ホームページを作成し情報発信を行う

<3年目>

・一年目、二年目の取組を継続し、理解促進セミナーを開催

（オンラインで民生・児童委員や自治会関係者等に配信：140名）

・アンケート調査を継続して（民生・児童委員）実施

・リーフレットを委員会で作成し、広く県内市町村等に配布

・ホームページを充実させ情報発信を継続して実施

<総括>

・3年間にわたり、知的障害への理解促進を図るため、地域共生のキーパーソンの団体（民生委員児童委員協議会・区長会）を対象に知的障の理解促進セミナーを開催し普及啓発を図った。

・民生・児童委員へアンケートを実施し、知的障害への関心度の調査を行うとともに普及啓発方法のアイデアを募集。

・アンケートでは116名の委員の方から回答が寄せられ、その中で知的障害者への差別、虐待はなくなっていないと92%の方が回答し、今後、社会全体で知的障害への理解を深める努力をもっと行



うべきと87%の方が回答した。ハンドブックに対しては小学生高学年や中学生向けにもっと分かりやすいものを作り啓発したらどうかのご意見を頂いた。

・民生・児童委員へのアンケートを基に子どもへの普及啓発を進めるため、子ども向けの分かりやすいリーフレットを作成し県内各市町村、各教育委員会あて配布し、知的障害への理解促進を図った。

・ホームページを立ち上げ、会員との情報共有を図るとともに一般県民等へ情報提供を積極的に実施し普及啓発に努めることができた。

◎ステークホルダーの変化（利用者、対象者、参加者、連携先など）

・民生委員児童委員協議会・区長会との連携により、県内全域の民生・児童委員及び各市の区長会の委員の皆様に知的障害への理解がより一層深まり、支援の必要性を再認識していただいた。

◎できなかったこと、今後の課題

・大学や企業との連携まで取組を広げることができなかったため、今後、知的障害者との交流を希望する学校や企業と連携し知的障害への理解促進を進め、知的障害への普及啓発を一層図りたい。